

- 1/6 シロフクロウ
- 1/8 ベンガルヤマネコ
- 1/11 ファンボルトペンギン
- 1/17 アカカンガルー
- 1/26 シンリンオオカミ
- 1/29 アフリカゾウ

- 1/31 シンリンオオカミ
アメリキリン
- 2/8 シンリンオオカミ
- 2/9 ニホンイヌワシ
- 2/21 ニホンイヌワシ
- 2/22 ミーアキャット
- 2/24 コモンマーモセット
モモイロペリカン
- 2/25 ニホンイヌワシ
コクチョウ
- 2/26 ボニー
- 2/27 ハクビシン
シンリンオオカミ
フラミンゴ
- 3/1 ニホンイヌワシ
- 3/3 ライオンラビット
アフリカゾウ
- 3/5 アフリカタゲギマアラシ
- 3/6 ニホンイヌワシ
ツキノワグマ
- 3/8 ファンボルトペンギン
- 3/10 ファンボルトペンギン
- 3/12 シバヤギ
- 3/13 カピバラ
- 3/14 コモンマーモセット
- 3/15 ニホンザル
- 3/16 チンパンジー
- 3/21 レッサーパンダ
- 3/23 アムールトラ
- 3/27 チンパンジー
- 3/29 ワピチ
- 3/30 ダイアナモンキー
- 3/31 ファンボルトペンギン
トナカイ
エリマキキツネザル
- 4/1 モモイロペリカン他
ニホンイヌワシ
- 4/5 ホンドリス
シンリンオオカミ
タンチョウ
- 4/7 ニホンイヌワシ
- 4/11 ニホンイヌワシ
プレーリードッグ
- 4/14 ニホンイヌワシ
- 4/20 ニホンイヌワシ

♂(ムース)♀(チップ)を繁殖のため予備舎へ移動。
♀(ダイヤ)の死亡を確認。
♂(知多)×♀(左右紫黒)ペア抱卵行動を確認。
室内に体長 10 センチ程の子どもが落ちており、死亡を確認。
交尾行動を確認。
動物の移動および収容方法を変更して実施。1頭の移動を担当職員全員で作業することとした。
寝室に産箱を設置。
♂(カンタ)体重測定実施、620 kg。
産箱に監視用モニターを設置。
♂(風斗)×♀(西目)交尾行動を確認。
♀(たつ子)産卵を確認。
新規個体♂2、♀3計5頭を搬入。
♀(もも)2頭を出産、定期的な授乳行動を確認。
全羽、羽の桃色が鮮やかに色づき、額の膨らみが目立つ。
♀(たつ子)2卵目産卵を確認。
4羽の性別判定実施、♂3、♀1と判明。
♀(アルファー)左右の後肢削蹄実施。
♂(ツキミ)×♀(イチコ)交尾行動を確認。
出産準備のため室内収容。
チリー2組、ヨーロップ6組計8組の営巣行動を確認。
♀(たつ子)3卵目産卵を確認。
2頭の産出と、定期的な授乳行動を確認。
激しい追尾及びマウント行動を確認。
♂(リュウ)×♀(ワヤ)交尾行動を確認。
♀(西目)2卵目産卵を確認。
冬眠終了、♀ヘリンゴを給餌。
1羽孵化を確認(♂(右オレンジ)×♀(左青黄)ペア)。
1羽孵化を確認(♂(右オレンジ)×♀(左青黄)ペア)。2羽目。
インプラントモジュールを埋め込む。
♂(レン)死亡を確認。
♀(サツキ)×♀(真桜)をケージ越しに見合い開始。
♀(ユウ)死亡を確認。
♂(ゆみのすけ)釧路市動物園へ搬出。
♂(ユウタ)×♀(陸)交尾行動を確認。
♀(アシリ)発情行動を確認。
♂(J太郎)、伊豆シャボテン公園より搬入。
♂、左角落角。
♀2頭、名古屋市東山動物園より搬入。
3/27、3/28 孵化個体を人工育雛による管理にする。
♀、右角落角。
♀(エリコ)1頭、名古屋市東山動物園へ搬出。
春開園に向け、フライングケージ鳥類放鳥。
♂(信濃)×♀(たつ子)第1卵、逆子で自然孵化できず死亡。
性別不明5頭繁殖。
最終交尾日から 65 日目、出産等行動の変化見られず。
1卵目産卵確認。
♂(信濃)×♀(たつ子)第2卵孵化確認。
4/7 孵化個体を盛岡市動物公園へ移送。
盛岡市動物公園より新規個体8頭搬入。
性別不明1羽羽添え孵化。♂(信濃)×♀(たつ子)
♂(信濃)×♀(たつ子)の第3雛を♂(風斗)×♀(西目)ペアへ育雛させるため移動。

- 4/25 シンリンオオカミ
- 4/29 ハクビシン
- 5/3 ホオアカトキ
- 5/7 カピバラ
ファンボルトペンギン
- 5/9 タンチョウ
- 5/10 チンパンジー
- 5/11 ニホンザル
タンチョウ
- 5/12 シナイモツゴ・ゼニタナゴ
- 5/13 ビューマ
- 5/16 ボリビアリスザル
- 5/18 ワタボウシバンシェ

- 5/19 モモイロペリカン
- 5/23 マーコール
- 5/26 チンパンジー
カピバラ
- 5/27 ホンドタヌキ
- 5/28 ノジロオオカキザル
- 5/29 ジャンボウサギ
- 5/30 マーコール
- 6/3 ヨーロッパフラミンゴ
ファンボルトペンギン
ニホンキジ
- 6/5 アフリカゾウ

- 6/7 トナカイ
- 6/9 マーコール
- 6/13 フラミンゴ
- 6/17 ワタボウシバンシェ
- 6/19 ニホンザル
- 6/24 シナイモツゴ
- 6/25 ツキノワグマ

- アカコンゴウインコ
- 6/26 ニホンイヌワシ
- 6/30 ヨーロッパフラミンゴ
- 7/2 アフリカゾウ
ファンボルトペンギン
- 7/9 トナカイ
- 7/11 トナカイ
- 7/17 アフリカタゲギマアラシ

- ワタボウシバンシェ
- ミーアキャット
- プレーリードッグ
- 7/20 ニアメリカオオコノハズク
- コモンマーモセット
- 7/22 シバヤギ
- 7/26 アカカンガルー

- 7/27 トナカイ
- 7/28 クジャク
- 7/29 アカカンガルー
- 7/31 コモンマーモセット

今日から♀も屋外展示再開し、2頭展示。
♀(モコ)と♀(ツキミ)の闘争あり、鼻先より出血あり。
♂♀交互に抱卵行動確認。
全頭体重測定実施。
性別不明2羽孵化確認。
性別不明1羽孵化。
♂(J太郎)、始めて室内展示場で展示。
今年4頭目出生確認。
性別不明1羽孵化。2羽目。
性別不明各1匹死亡確認。
交尾行動確認。
♂(ノバノバ2)死亡確認。
性別不明2頭出生確認。1頭は発見時死亡、もう1頭は親の育児放棄のため人工哺育とする。
♂(赤)×♀(黄)交尾行動確認。
性別不明2頭出生確認。
♂(J太郎)と♀(ノリコ)お見合い実施。
4頭同居実施、1回目。
性別不明2頭出生確認、いずれも食害にあう。
♀1頭出生確認、♀(ナナエ)の仔。
♂(愛称：格さん)1頭死亡確認。
性別不明2頭出生確認。
産卵、抱卵確認。1日目。
♂(南知多No39)1頭死亡確認。
検卵実施、11個すべて有精卵であることを確認。
糞臭試験実施。盛岡市動物公園個体(♂♀)の糞の臭いを当園♂♀へ嗅がせ反応を観察。
♀1頭出生確認。
♂1頭出生確認。
孵卵器へ4卵入卵、経過観察。
人工哺育30日経過、体重62.3g 元気が力強い鳴き声確認。
野生ザルが園内サル山周辺に出没。
シナイモツゴの稚魚を確認(繁殖)▶
♂(稔)に対し、インプラントモジュール埋め込み作業のため麻酔下で処置。
雛の声を確認。♂(ガラ)×♀(クミン)。
♂(風輝)、須坂市動物園へ搬出。
性別不明1羽孵化確認、♂(両アルミ右太)×♀(右黒)ペア。
糞臭試験2回目実施。
人工育雛個体、ペンギン舎予備舎へ移動し管理する。
♂1頭新規個体搬入(愛称ルドルフ：那須どうぶつ王国より)
♀2頭新規個体搬入(釧路市動物園より)
新施設ウエルカム動物舎へ♂(ハリマキ、おこげ)、♀(ラーメン)の3頭を移動、展示。
人工哺育60日経過、体重103.8g 元気に保育器内を走り回る。離乳食にすりおろしリンゴやバナナを給餌。
新施設ウエルカム動物舎へ♂2頭、♀3頭の計5頭移動、展示。
新施設ウエルカム動物舎へ♂8頭移動、展示。
性別不明1羽、動物交換により搬入。
♀(ツクシ・真桜)動物交換により搬入。
♀1頭出生確認、(シロ)の仔。
室内で仔が落ちているのを確認(♀体重70g、推定2ヶ月)。
母親を特定し育児囊へ戻す(母親：サキコ)。
♂(マオ)死亡確認(年齢9才)。
全羽にマイクロチップ埋め込み作業実施。
♀(サキコ)の仔、7/26に育児囊へ戻してから仔の動き確認。
性別不明2頭出生確認、母親(もも)。



お客様の声

- ▶ アカコンゴウインコをみた5歳くらいの女の子から「このインコは羽に色を塗っているの?」と質問されました。
- ▶ さるっこの森前で、4歳の子どものつれた母親が、息子がキリンの足はなんでケガをしたのか知りたいとこのことで声をかけてくれました。小坂町からいらしたそうで、質問に対しては、キリン舎にて直接キリン担当の職員に対応してもらいました。帰る際に、わざわざお礼を言いに来るっこの森まで寄っていただき、とても満足された様子でした。
- ▶ フクロウの動物解説を聞いていただいたご家族より「岩手からフクロウを見たくて来ました。こんなに近くで見ることができて感激です。本当に良かった!また見に来ます。」また、フクロウのペリットを見てみたいというご要望があったので、今日のペリットをお見せしながら、フクロウの食性などについてお話をしました。

- ▶ ワピチの餌やり体験で、「動物を至近距離で観察できた!」「普段入れない所に入れた!」「落角した角に触ることができた!」など、さまざまな感想をいただきました。
- ▶ ビーバープール清掃中に、親子の来園者に声をかけられました。「盛岡から初めて来たんだけど、大森山は変わった動物が多いですね!動物との距離がとても近くてビックリしました。いつもは盛岡の動物園に行くんだけど、今日は娘とふらっとここに来てみました。とてもいい!興奮しちゃいました!天気がいまいちな?と思ったけど、本当に来て良かった!と興奮しながら話していました。

- ▶ 「マーコールの赤ちゃんがいることが展示場の掲示等で知らされていないようなのでもったいない。せっかくのかわいい様子をもっと多くの人に見てもらえた方がいいと思うので、アピールするべきでは?」とのご指摘をいただきました。

かたばた通信 ~編集後記~

初めてコミュニケーションの編集に参加しました。紙面の特集や構成、執筆者、写真を決める「編集会議」では、各職員が飼育・展示している動物や実施したイベント内容を吟味しながら話し合います。コミュニケーションを手にとった方に伝えたいこと、これから動物園へ訪れようとする方に紹介したいことなど、担当者の思いはさまざまです。今年は正面ゲートに休憩施設や情報発信機能などを備えたビジターセンターやウエルカム動物舎がオープンし、お客さまを迎える体制が一層整いました。それらを集めた本誌が、これから大森山動物園をもっと楽しんでいただくための一助となれば幸いです。(柏谷)

